

# ■ 2009年度 入試問題分析シート ■

東京大学

前期日程

科目

国語(漢文)

文科	試験時間	150分	満点(配点)	120点	出題数	現代文 2題、古文 1題、漢文 1題			
理科	試験時間	100分	満点(配点)	80点	出題数	現代文 1題、古文 1題、漢文 1題			
総括					難易度(昨年比)	難化	昨年並	易化	
					分量(昨年比)	増加	昨年並	減少	

## 〈総論〉

- ・今年度も、理・文共通の文章が問われた。
- ・設問数は昨年と同じく文科5問、理科4問。文章・設問とも標準レベルの出題である。
- ・久しぶりに漢詩を含む文章が問われた。

## 〈合格への学習対策〉

多くの漢文を読み解き、解答をまとめるトレーニングを積み重ねること。今年度のように漢詩が出る可能性や昨年度のように書き下しが問われる可能性があることを忘れてはならない。

## 問題分析(本文)

問題番号	類別(ジャンル)	出典(著者)	コメント(特徴・出題頻度など)	本文のレベル
第三問	詩話	『梅花無尽蔵』(日本・室町・万里集九)	極めて珍しく日本漢文が出題された。詩が含まれたのも久しぶりである。設問は特に難問というほどのものは含まれない。	標準

## 設問分析

問題番号	設問番号	設問形式	設問内容(特徴・解答上のポイントなど)	設問のレベル
第三問	文科(一) 理科(一)	記述	理由説明。(傍線部前後の内容に注意してまとめる)	標準
	文科(二) 理科(二)	記述	現代語訳。(「豈非～邪」の形に注意)	標準
	文科(三) 理科(三)	記述	指示する語の抜き出し。	標準
	文科(四) 理科(四)	記述	押韻にかかわる空欄補充。	標準
	文科(五)	記述	指示語にかかわる内容説明。(直前の第三句に着眼し、「楽」の内容を具体化する)	標準

「本文のレベル」と「設問のレベル」は、本大学・学部を志望している受験生の入試レベルを基準に、難易度を5段階〔難・やや難・標準・やや易・易〕で判断しています。昨年対比ではありませんので、総括の難易度(昨年比)とは連動しません。